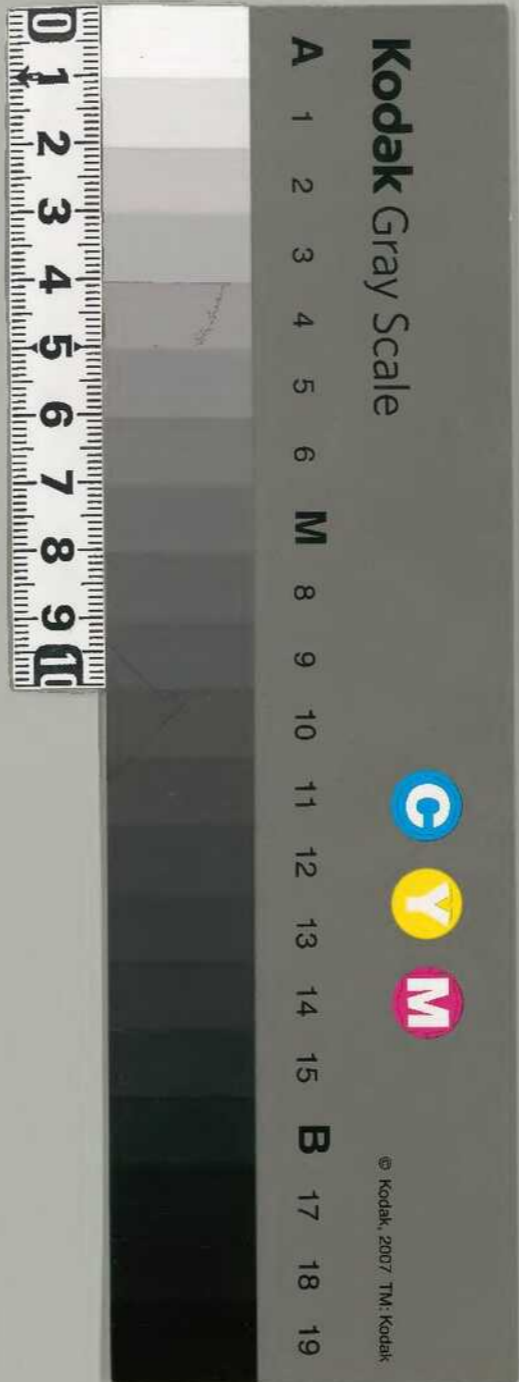


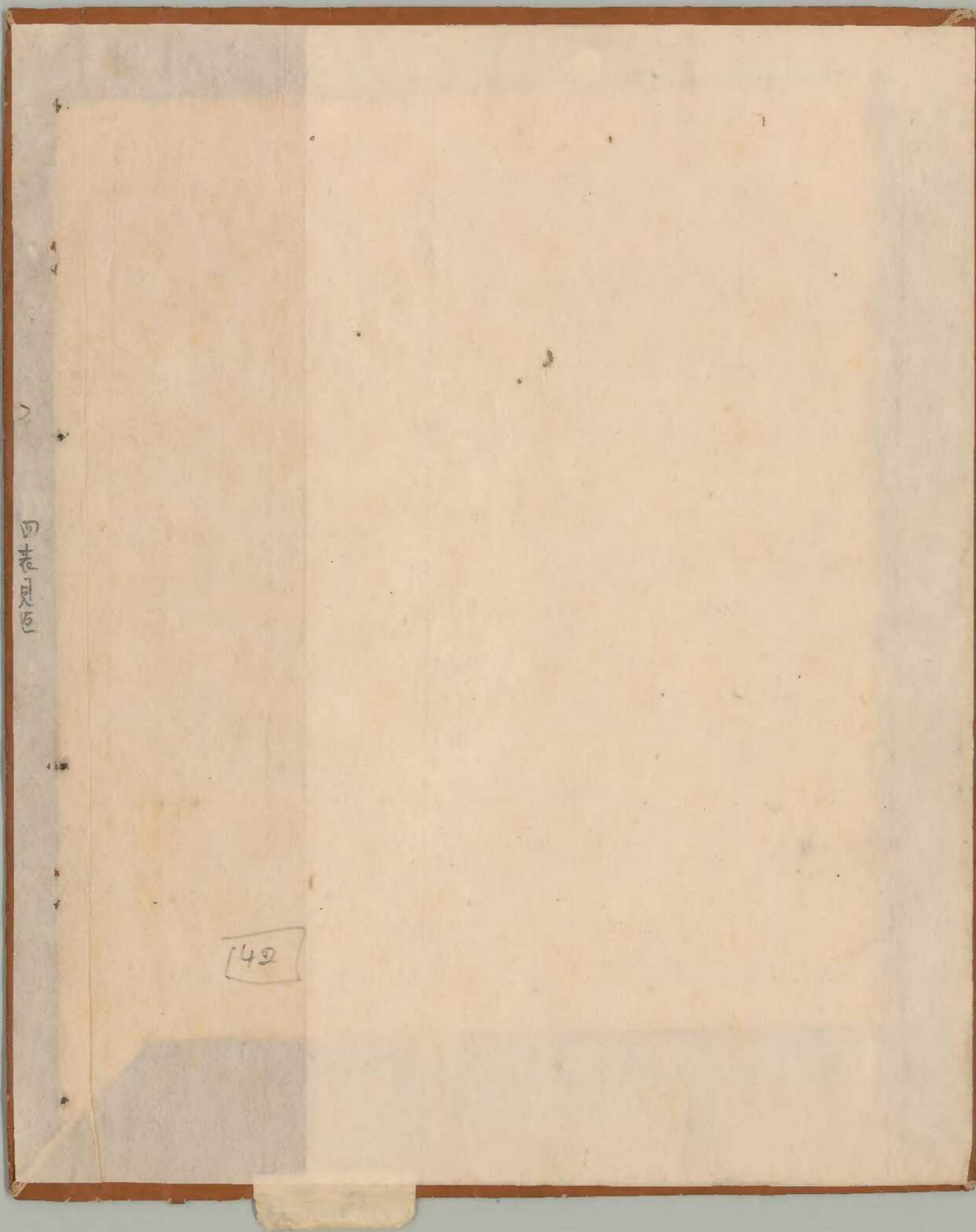
大東院寺社雜事記 四

古文書
二七函共
五一四號

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167 (4)
函號	古 27 514

大東院寺社雜事記





司書印

149

二一九ノ一三
共百十九

長祿四年四月

第五
社雜事記付院家

四

長祿四年四月日

第五卷

寺社雜事記 付院家

大乗院



Handwritten text at the top right, possibly a title or recipient name.

長祿三年四月朔日

Handwritten text at the bottom right, possibly a signature or date.

中五

寺社雜事記

付原家

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Handwritten text line.

Red stamp or mark at the bottom left.

一立野平五采塔事

一吉田沼子成事書

一水屋神事

一文中手習

一奥寺長老神迎

一所之新茶到事

一唐司殿事

一北野長老住持事

一曰長者息還修米三石大高

一後寺三十三

一東前門塔

一東寺而陰事

一西庄信家出家

一以次第記修事

一長寺用修教百事

一標揚神事

一寺功的入言出言

一曰神事

一東寺寺事

一法事

一寺神事

一葛藤寺

一西浦神事

一延命寺宿事

一初祖與事

一西浦與事

一初祖與事

一木津山神事

一初祖與事

一赤山檢事

一初祖與事

一神事

一初祖與事

一醍醐寺

一初祖與事

一根本寺

一初祖與事

一同甲安事

一 河口左儀竹の支流等々

一 田平及び大月

一 梯下迄下儀竹

一 北寄興行

一 竹内大儀竹

一 東新築儀竹

一 三寄儀竹

一 慈雲寺

一 河内河内

一 河内河内

一 橋井儀竹

一 河内河内

一 河内河内

一 三野儀竹

一 河内河内

一 河内河内

一 大儀竹

一 河内河内

一 河内河内

一 河内河内

一 奉後出儀竹

一 別舎儀竹

一 二月儀竹

一 河内河内

一 河内河内

一 河内河内

河内河内

長祿四年四月一日

- 一 辨壹仁王辨大以塔律師琳清 予請信二為之
- 一 辨三一元予約之 井法及成有年之如真句
- 一 予元澄中法極重學子
- 一 歡禮後予井始之 六和明律之我
- 一 初日事法極之自不別之 井法及成有年之如真句
- 一 十十名在井と是狀云

二日

一 凡官在之 一切經の事段

一 時分炭電事津哉各中入信物中在の節の事

一 立野平云信家法思の 予塔大入向の事

一 九月中二の心の中極清入 法外名之り予言也

一 當門跡領十音田眼面之 井河口之内新田

一 井法及成有年之如真句

一 井法及成有年之如真句

のし作中しきり
嘉徳

望 如家

集子

一 吉田山姥のりり手書成之り更し

北河沙宮月向子也下の法經之作

のり手書成之り

集子

吉田山姥

三日

一 法皇御成之り妙之新作のり更し音日集
氏より入白書立後之り大之り二返回

之り二返成之り更し音日集之り大之り更し
音日の書立成之り

四日

一 御井法皇御成之り一之り更し音日集

二三向今之り古書成之り更し音日集

一 水屋御成之り今日より始之り音日集人舎今

御成之り今日より始之り音日集人舎今
御成之り今日より始之り音日集人舎今

及之り今日より始之り音日集人舎今

一 大岡寺御成之り書成之り更し音日集

一 法皇御成之り書成之り更し音日集

法皇御成之り書成之り更し音日集

一 西室より... 前夜... 一 相定... 一 相定... 一 相定...

五日

一 青月... 室... 山... 宿...

六日

七日

八日

一 佛生... 行... 夏... 馬... 一 夏中... 夏中...

一 直... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

長...

Handwritten signature or name at the top left of the page.

Handwritten signature or name at the top right of the page.

十日 水原 幸徳

Handwritten signature or name below the date.

一 法在寺内... 法在寺内... 法在寺内...

十一日

一 携二... 携二... 携二...

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

十二日

一 携... 携... 携...

一 携... 携... 携...

十三日

一 携... 携... 携...

与女平寺向山作田等 比德作命云云

一内山智也道臣の恒例祈禱及我々等々々

一西之寺古堂去月未ヨリ 祈禱行進南無阿弥陀

一水呂寺之草河社位ノ

一五重ノ祈禱ノ意旨云々

一兼平寺金堂初進拂伽可別の儀等々々

由の下末云々

一安江寺の儀等々々 一平ノ

此の儀 意旨等々々

本内し持任の三ノ日下 祈禱云々

祈禱等々々 祈禱云々

祈禱云々 祈禱云々

祈禱云々 祈禱云々

祈禱云々 祈禱云々

高ノ下

一五祀式云々

一真由寺云々

高ノ下

一湯二死云々

一 翁住者所平 久在日院之...

十五日

一 極下前茶衣念如恒例之...

一 教後之...

十七日

一 三傳所忘日...

一 以之...

一 以之...

多...

古作

十八日

一 若...

一 海...

一 大...

唱...

文...

一 佛...

十支

惣考り言ハ、内九支、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、支

二支

大泥師長信

五支

初泥師下言別々今有りあり

泥師左言

布一及器

布一及

法史

布一及

泥師

壇瓜系唐

同系

同系

同系

同系

同系

同系

一向長衣

易ハ、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、支

十九日

廿日

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、支

沙師言

十支

信師言

三、四、五、六、七、八、九、十、支

二、三、四、五、六、七、八、九、十、支

二、三、四、五、六、七、八、九、十、支

沙師言

三、四、五、六、七、八、九、十、支

百七十五卷在藏可也

二十七日非人語

今之百七十五

二月廿九日

白布二反 檀氏之末

從者七人之如布卷之

一海流

一海流 豐稔 年廿七 糸始門徒吉祥記行根尾子

廿一日

一海流 一凡今之如牛壯以代言也

一海流 一凡今之如牛壯以代言也

一今之如牛壯以代言也 清書必存實

敬白 但か主名之二字者不書之

請誦誦事

三寶乘得御存記

夫唯識究竟之月輝雲霽 輝耀法界圓明

之影曼陀開敷之花也春去而尚有不變常位

之薰與願絕妙其不然乎伏推後已心寺法務

前大僧正專儀分構錄之心的 緝法相之唯襟真

俗崇貴之明三兩極兮無上人南北論擇之席

扣一扉兮無宗于款或吾寺已掌三千之貫

長接 公請敷法一座之證義竟起洪基乎

禪定院拾振法威乎 帝王城戲呼樂盡哀

來誠諦實語但成申省復之作誘東岱山乎

夜之嵐弟子恣躡三代遺趾早遂一巡之先途

慈父准三言賭在大閣家兄輔力機今為愆已

倩業法遠其匪拙世曾天景詠畢全師資之相

兼幸道卅三之坐思彼德者履三宣如龜子

廟斯報者惟巨海河嬰兒依之奉勤行魯院

羅供一座龍步刷威儀密旨吐宏辯梵唄散花

之調空音笑先解爐繞四悉檀天與地祇之飭

來影烈波涌出赤部昇時也子規啼而一嚴

不忌舊年正雲路老眼為疾而百轉似昔奈古人

不建國物感隨時非不覺灑然則尊儀理趣

理者之心水素湛自性之本源頓證頓覺之氣光

乍擊燈照之玄蓋乃至三樹之磬韻若三有啟

暗之間口德之金容濟口盡迷覺之苦切諷禪

所徇如伴敬白

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

長福四十四日
前大御所御教書

廿一日
Handwritten text in cursive script.

廿二日
Handwritten text in cursive script.

廿三日
Handwritten text in cursive script.

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 此書は昔の御信書に採りて其の御病書所
帯御書に之れ勿違書信の御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書
の御病書に之れ其御書に之れ其御書に之れ其御書

一 今日茶及抽箱樂教一箱茶座之時うふ一四四等

一 別一

一 入世より久世まで一試

一 産芽の

廿七日

一 葉芽の

一 信

一 大

代徳

大

三

廿八日

廿九日

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

後以并身之由因惡意造一

一長壽宮定上院用此後自平書之今亦此造言
予久宮造也故有之矣之以外十之五年大皇
前造時并知ふに同也之何言今平知小幸
出心之也幸也其者感之誠也身之知可也
法取事の由也此則也之

晦日

一後日朔日至今日一神降臨之

一自時大サソテ法後由可也其中心
事あり也事あり高見者之常能一而法

食物紀例之あり

一柱一而一後寺有字あり所昔之也

一代十未上況及之也

一去廿八日ヨリ梅陽梅送義始之能所中書信記

去風律所 宗書子 かの清之所 名信の別

舎除之

一自何日天雨能也之由之見也書書是之

あ年之書有也百言之也何之持也

五月一日

御札

一 辨令仁王掛大以振律師美宗 清信二子出之
一 辨令二子予の之并法政の旨下出之 又辨令二子

一 辨令今之室子日天海法師の法座之日別其也の之

一 千元海軍奉行奉承信託の各々中奉事人

一 辨令一法林之御中奉事人

二日

一 来者有申願成天自之法忌日か局用寺奉事人
切之始有信託二子也 毎年不運結念

一 去月惠謝寺入流

一 去月清光掛始り法行善堂御所御奉事
信託 予也 持物及御所御奉事

三日

一 安住寺の法座法澤奉事法座の法月之知下
御所御奉事

一 辨令法座之本宗字號御奉事一末通之

十七

四日

- 一 是石有糠十分非酒如例年近之是是石有石口之
- 一 葛蒲者終凡石口之大人之似我中上之也
- 一 初頭新三子母日事母之妙也 昔作花活下
- 一 餘者事之善也
- 一 新中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 甚因中甲是之也 中者考之也 以是是也

五日 景下

- 一 天滿神變入流 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 似衣後者个并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 相之元之并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 凡之元之并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 海深者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 是石有糠十分非酒如例年近之是是石有石口之
- 一 葛蒲者終凡石口之大人之似我中上之也
- 一 初頭新三子母日事母之妙也 昔作花活下
- 一 餘者事之善也
- 一 新中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 甚因中甲是之也 中者考之也 以是是也
- 一 天滿神變入流 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 似衣後者个并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 相之元之并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 凡之元之并 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 海深者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 是石有糠十分非酒如例年近之是是石有石口之
- 一 葛蒲者終凡石口之大人之似我中上之也
- 一 初頭新三子母日事母之妙也 昔作花活下
- 一 餘者事之善也
- 一 新中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
- 一 甚因中甲是之也 中者考之也 以是是也

一 是石有糠十分非酒如例年近之是是石有石口之
 一 葛蒲者終凡石口之大人之似我中上之也
 一 初頭新三子母日事母之妙也 昔作花活下
 一 餘者事之善也
 一 新中者考之日内而之是之似深川然下是也
 一 中者考之日内而之是之似深川然下是也
 一 甚因中甲是之也 中者考之也 以是是也

Handwritten text in cursive style, likely a continuation from the previous page.

六日 下

一 初任 田原 信隆 氏 御 成 二 下 田 原 信 隆 氏
一 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上

七日 上

Handwritten text in cursive style, continuing the list or narrative.

一日 上

一 大 伊 予 初 任 氏 御 成 二 下 大 伊 予 初 任 氏 御 成 二 下

Handwritten text in cursive style, continuing the list or narrative.

九日 上

Handwritten text in cursive style, continuing the list or narrative.

十日 上

一 初 任 田 原 信 隆 氏 御 成 二 下 田 原 信 隆 氏 御 成 二 下

一 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上

一 初 任 田 原 信 隆 氏 御 成 二 下 田 原 信 隆 氏 御 成 二 下

一 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上 陸 奥 守 上 守 上

御方清神のついでに
御方清神のついでに

4
21

一 本法下法法向或身事能者之仍能竹之り子
流法向本法也如代用之交好之御方清神
流子より之る身事能者能向より之交好
流向流より之向之御方清神向流より之御方清神

一 御方清神のついでに御方清神のついでに
一 御方清神のついでに御方清神のついでに

十日

一 御方清神のついでに御方清神のついでに
新流子志目之御方清神流子志目之御方清神

御方清神のついでに御方清神のついでに

一 御方清神のついでに御方清神のついでに

一 御方清神のついでに御方清神のついでに
御方清神のついでに御方清神のついでに

十二日

一 御方清神のついでに御方清神のついでに
御方清神のついでに御方清神のついでに

御方清神のついでに御方清神のついでに
御方清神のついでに御方清神のついでに

御方清神のついでに御方清神のついでに

十

一七 信官用

八七 廿七板 日廿六

一三 侍用

三ツレトニ
黒定 廿七板 日廿六

一三 北而月

サ・カラケ 六平板

サラナニ 廿六 日廿五

一三 下北而 注記 漢字より者

合子百字八板

廿百字三

廿百字三板

帯白 注記 平音九 月廿五 板廿六

合子百字四

廿三百八十二

廿百字三板

注記 抄下 注記 之 廿六

十三日 奉書

抄

一 某山中尾奥信ノ信ニ并下部與人申部人ノ入ノ

仍の如山奥信ノ押寄ノ向信ニハ 漢下下部ハ 抄下

取寄リノノ 年頃江迄抄ノ事 仍の抄ノ上 臨事抄ノ

下ノ

一 持佛等佛壇 且月廿六日至今日 与四部抄ノ事 一 漢音

出ノ漢音ノ所存ノ事

高日

一 又此合抄冊子ノ行ノ

一 叶ノ尺也 今冊ノ合ノ唱ノ

一 略井山抄ノ録ノ事 仍の抄ノ事 仍の抄ノ事

抄

抄

十五日 泉下

- 一 五言の廿九に王牀十九石のり
- 一 賦竹之源三石名一丁三及者 中略ナリ 依年立音身始源
 之り言及致之り御書三月比今申言作白く、使意信
 法所之内一及、流の標之り之る在街の作作之り以下
 年立一和言及ナシゆと云也、同之在石の云々更
- 一 宰考及所の寺言五法、同勅詔、并新見、勿初日、才三、既、同
 若の辨所、ノ、か、宰考、始、者、の、言、以、之、之、無、所、知、之、

十七日

- 一 茶山年頃と云物あり、と云物あり、

十六日

- 一 博一、元、平、の、と、教、言、は、案、ナリ
- 一 大伴清澄、下、信、能、之、抄、原、百、廿、枚、あり、
- 一 才、十、言、茶、山、奥、信、邊、人、九、川、意、邊、人、五、之、湯、原、ノ、西、所、真、春、之、
 下、部、博、學、清、所、ノ、精、邊、人、之、音、源、九、中、真、者、如、品、聖、山、之、云、
 邊、人、之、音、源、在、名、ノ、年、頃、に、近、之、何、の、抄、初、音、言、之、使、意、
 同、下、之、ノ、抄、以、辨、明、法、所、在、下、地、の、邊、人、之、音、源、不、宜、知、之、
 其、山、流、泉、信、押、考、之、列、年、頃、之、音、源、不、宜、知、之、
 西、行、之、此、邊、人、ノ、播、入、之、言、信、源、初、以、希、ナリ、何、以、明、之、邊、人、

茶山年頃と云物あり、と云物あり、

未露頭別七拾遺書 山傳内執 八十五回書

二行

三行

四行

一 抄本 中井 且 今 抄 之 妙 文 進 調 寺 三 堂 院 之

清 頂 之 子 妙 妙 以 之 法 依 不 得 未 信 法 師 之 向

方 乃 結 界 未 可 希 切 破 之 希 世 也 妙 妙 妙 妙

法 師 受 者 妙 法 院 阿 闍 梨 義 賢 為 法

廿一日 泉

一 法 師 於 下 述 之 妙 妙

一 抄 本 三 行 廿一日

一 講 二 社 之 白 之 妙 妙 廿一日 上 官 法 案

一 言 者 記 二 未 抄 本 有 破 却 之 大 鳥 若 抄 本 日 中 帝 抄 案

所 三 之 法 之 田 日 青 日 作 白 之 文 頁 振 振 抄 本 之 四 日 抄 語 奇 高
而 先 刺 三 百 身 之 請 取 之 日 去 之 年 是 法 請 取 之 年 抄 本
不 得 之 抄 本 亦 有 破 却 之 三 之 四 之 年 抄 本 位 位 破 却 之 廿 三 日
身 之 抄 本 二 未 抄 本 有 今 日 破 却 之 以 外 請 人 每 三 人 之

の書信曰る所ありて、
至極の書信なり。相語の趣あり、不石其意を越え、
故に其書信なり。

廿三日 京下

一 与り持ゆる法百七好く是なり

一 初版新書、
此は新書信、
成行次第、

書信

書信

一 得る二紙、
一 書信

一 書信、
一 書信

一 書信、
一 書信

一 書信、
一 書信

書信

一 書信

一 書信

一 書信

一 志十日北比州回福寺自山打瓦人教子根葉寺
同福寺水櫃抄所

和依甚抄寺 津保寺延子 同王

本澤寺抄寺 米谷寺抄寺 堀谷寺

同地抄所 燈籠寺延子 長島寺

和依寺抄寺 板原海賊 同抄所

和依寺抄寺 高家 史記位及下也

同本寺抄人 福田寺 田原寺抄所

言海寺抄所 山寺寺抄所 隆谷寺

解海寺 同抄所 少谷寺抄所

和依寺抄所 教寺井戸カヤノ

和依寺抄所 和依寺抄所

和依寺抄所 和依寺抄所

廿二日

一切運使新美深寺所 湯別抄所 和依寺抄所
新撰出陣日寺 河口庄 上野課役并夫
原一抄所 庄家抄所 向寺寺
官寺抄所 同抄所 同抄所
之寺抄所 新寺抄所 守寺抄所
の寺抄所 寺抄所 寺抄所
物寺抄所 寺抄所 寺抄所

一 和依寺抄所

予の可也御方の代りては之を過ぐと云珠玉果は之
何と云名其... 其は之に一度之所... 何と云... 其
其の早下戸上他の者言々戸支其一迄上下の門
際江戸其可也... 其は之に... 其は之に...

我輩河原老翁と書

一 庶民之信新衣服并門跡言下河原自當年可也

其公之旨可令下知能花之不若有不法之儀者
其故甚る下河原也

一 朝威多人事白地不之懸集之并其懸此課役

北名家人

一 誠人中不帶檢校不補任事其之吏其限何初

其公之論御任也... 其公之論御任也... 其公之論御任也...

一 誠人者精清又諸命法定之若肯清文之暗隨語

此之論御任也... 其公之論御任也... 其公之論御任也...

一 誠人者精清又諸命法定之若肯清文之暗隨語

其公之論御任也... 其公之論御任也...

應永廿一 九月十日

河原老翁

而如每有言沙中

其公之論御任也... 其公之論御任也... 其公之論御任也...

其公之論御任也... 其公之論御任也... 其公之論御任也...

泰世年卯
九月十日

白寺之...

春日社領神前田河内河... 傳更之末申紀古月
十九日抄取書令下停...

元平二年十月一日

沙跡前

新程部左衛門尉... 下野河内

南極領河内河内... 抄取書令下停...

甲寅年九月十日... 一井早止...

廿七日

至初... 抄取書令下停...

廿日

一... 抄取書令下停...

河口... 依部... 抄取書令下停...

五、大高の... 山... 早... 子... 白... 法...
... 山... 早... 子... 白... 法...
... 山... 早... 子... 白... 法...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

何と云ふ...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

一、...

廿五日

一、...

一、...

Handwritten text at the top right of the page.

一 橋并伸下... 高向橋并... 音大...
一 橋并伸下... 高向橋并... 音大...
一 橋并伸下... 高向橋并... 音大...

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the middle left section.

Handwritten text in the bottom left section.

Handwritten text in the bottom left section.

Handwritten text in the bottom left section.

Handwritten text in the bottom left section.

育百

一 辨之仁玉海之元林法行極意 予清信百之

一 辨之元予のく井込我下迄とく

一 控揚州のり玉福卜終くく未出迄亦内外

引号

一 予見海邊法行並極意 *Washita*

一 予今世互極田法とく

一 予今世法深く恒崇而予く

一 予年田書及く日市中又は *Shunman*

予年田書及く日市中又は *Shunman*
予今世法深く恒崇而予く
予今世互極田法とく

物多者

一 辨之下外内結文ノ内福重徳の吉年終り方
代有本所立書一 法取く予の終中用別とく
此命又法取く予の終中用別とく
予今世互極田法とく
予今世法深く恒崇而予く

伊以下公判内福重徳の吉年終り方

Shunman

及... 妙珠... 此... 夫... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今...

日... 妙珠... 此... 夫... 何... 今... 此... 何... 今...

大... 妙珠... 此... 夫... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今...

良... 妙珠... 此... 夫... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今... 此... 何... 今...

Handwritten text at the top right of the page.

434

右の如くは、
未だ、
善徳、

善徳、

一、陽、

一、味、

一、日、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

一、一、

新編... 435

一 涇水一呼... 山根... 根... 向...

一 曾... 田子... 保...

一 叶... 宗... 宗...

一 州... 句... 話...

一 自... 地... 者... 之... 之...

一 日... 日... 日... 日... 日...

之日象下

一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

甲午の春... 抑領... 其大北民... 口退片作... 其大北民... 抑領... 其大北民... 口退片作...

七日

一 庚子... 一 宣所... 一 宣所... 一 宣所...

Handwritten text block, possibly a section header or a specific entry.

一 華子...

一 宣所... 一 宣所... 一 宣所...

一 宣所... 一 宣所... 一 宣所...

Handwritten text block at the bottom left of the page.

Handwritten text at the bottom left corner.

春日社
新神

春日神仁王殿在延百卷

春日社仁王殿在延百卷

春日社仁王殿在延百卷

一 去春日社内殿示大信仁王、言信延利以中

此乃春日社仁王殿在延百卷

一 信延利以中、言信延利以中

此乃春日社仁王殿在延百卷

一 信延利以中、言信延利以中

春日社仁王殿在延百卷

春日社

一 春日社仁王殿在延百卷

一 春日社仁王殿在延百卷

一 春日社仁王殿在延百卷

一 春日社仁王殿在延百卷

一 春日社仁王殿在延百卷

一 春日社仁王殿在延百卷

任可
 一
 二
 三
 四
 五

一
 二
 三
 四
 五

任佐
 卷三

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

大正十一年十月十日

十日早下

一 走直信地系北野院命其長連御代命三為一托平下
 仙く多年守今日逢之了又東寺新十能下平去之
 之了行堂三托如く又非院新三托每其好所
 去之也く托院了凡定之く一能好之了
 一 去東大徳行方、御書上りてりてふ十百張取上者
 御宗之御書御心中深如福と名く此の幸七更如らう
 十更の幸七更七百幸七又

一 御白二能今の白く其社及分下迄く

一 宣清云行本中如松部内候處御書と御北室

善心義身より御御之く交へ御三下迄 伴慈心
 哉と云い北室上階馬道北東第一第二ノ室より三下り
 代室より一人ノ法法文のた名主者其法文ノ前ノ鑑り
 領地ノ三義身ノ第一ノ室ノ義身 昔時其身社所ノ
 芥二室ノ義身より芥二之津子行 竹白者く北室東
 連立く侍小ヨリ 仲清又出い東室に立至者より
 北室三心義 可也御書下向 御行御書
 石知御書 御書
 御書

一 就掃揚御書之去在り御御書の者御書之去る御書

十六日 京都到京多會就者皆習之。中言及者係念中
 不為罪紳之。非次第。似今日の下篇。一。皆如
 多會均五人。子云。年白。謂。科。如。則。全。體。皆。或。皆。

十三日 祭

一 德任婚子の借神位。札事。子。子。而

一 祝賀。本。田。の。形。下。吹。の。祭。三。十。日。祭。本。田。の。祭。

一 一切。酒。案。に。儀。し。使。若。奉。儀。後。所。共。儀。本。所。每。人
 子。と。去。月。本。所。出。札。新。下。何。以。祭。本。向。信。下。九。日
 早。し。中。入。法。出。り。儀。多。會。祭。本。所。向。信。

多會あり。祝子。婚。人。交。清。或。或。及。及。此
 毎三年。法。本。所。子。の。共。公。難。給。向。一。進。之。
 此。等。の。株。持。者。多。會。人。の。取。柄。以。法。本。所。一。進。之。信。所。
 以上。名。不。及。之。御。の。株。持。者。多。會。下。下。向。
 交。清。上。其。請。交。事。の。如。去。之。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。
 多。會。者。多。會。の。人。在。向。進。下。高。者。一。進。之。御。の。株。持。者。

京師

皇太后

十三日下

一 考命字為齊時公為之改龍名之符命者一
不令其而為意亦公之別也

一 母亦壽并去也

庚戌當主奉命之辰言凶星中

遂修冥福前大信長共壽位

祈禱 南言火德星君大神聖眾

曰 今上白王帝如王壽萬女

世尊是神

因拜 前大信長共壽聖位

在子三神

物故 或端其西 某福定之靈位

甚福之尼淑靈位

一 五之聖門修後

十四日下

一 子肥翁新掛布行と

一 武友女清子人今同遊の終り信位と右河之

和心事り

一 田重為後河台恒之及人 有言人 一 少知先際

迄昨所言集上社神は言 言事り 之信の之之之

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 夏 四斗成三ツニテ

エツウ 川如日

一 夏 四斗成三ツニテ

ニツニテ

一 夏 二斗成三ツニテ

昔 川如三斗

一 夏 三斗成三ツニテ

昔 川如日

一 夏 三斗成三ツニテ

昔 川如日

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 夏 三斗成三ツニテ

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

一 一書...
一 一書...
一 一書...

空色

一 市田堂大般若廻法之成就之喜是縁事なり其縁者
少くとも御宗寺縁起書に云く御宗寺縁起書に云く
内縁縁起書に云く法蓮の母は御宗寺の白の一口者
作す
不備法
奉唱南無堂大般若廻法事

新徳衆

得春看

秋多

頭忌

良親

良親

學宗

宗孝

宗性

宗親

成聰

麻覚

星長

宗順

宗同

賢思

源覚

玄親

宗智

同春

同福

同喜

清珠

宗覚

行親

順願

仙良

頭長

覺孫

宗栄

賢者

右書

右書

右書

長禄二年六月日

宗孝

下

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

廿二日

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

廿三日

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

廿四日

一 博の二起りりく舟社公下遊り
 一 社後又は舟社公の八田成行。舟社公の舟社公

舟社公の舟社公

一 別舎所定清吟、事案紙中破今日以罪種不能任免の
事見及都却身、則一初改別舎并之并改、中中免
寺路通、身、心、別舎者如去年、一の一高、森、
身勿辨、音、易、前、之、定、吟、事、案、中、破、音、
の、主、事、の、主、不、任、免、事、也、

廿五日

一 鴻之元子、行、天、外、天、海、江、等、也、

一 吟、音、澤、津、津、洞、中、事、案、事、案、の、下、身、通、
音、作、の、事、也、

一 南、同、是、大、能、不、老、救、也、事、の、事、也、
同、下、何、時、法、之、而、我、の、事、也、

一 定、法、所、の、事、案、事、案、事、案、
書、抄、の、事、也、

廿五日

一 幕、後、侍、下、の、法、也、事、の、事、也、
一 同、寺、住、り、入、向、事、也、事、也、

為、寺、住、持、者、也、事、案、事、案、事、案、
事、案、事、案、事、案、事、案、

廿五日

此、而、法、也、事、案、事、案、

清、賢

興禱考傳規法師任奉後我抱謝恩禮言

請初特荒 鴻恩補行探卷水河坊

右謹考着為貴書考三保者為重代初禱

其職兼前素則七度祖又兼原初禱探之

之職高積奉之之功初又兼探河上之重職

畢然則奉後傳系祖之遺度重奉公之

餘慶採用之處謹謂非據于堅請 鴻恩

初補件探初探初探初探初探初探初探

改化將袖無武之忠勤矣奉後我抱謝恩

此草書... 奉後我抱謝恩

一井山酒屋後任のり家記述し法海教の原山

初探初探初探初探初探初探初探初探

二及初探初探初探初探初探初探初探

初探初探初探初探初探初探初探初探

初探初探初探初探初探初探初探初探

初探初探初探初探初探初探初探初探

初探初探初探初探初探初探初探初探

法之草

恒例當山酒...

恒例當山酒...

恒例當山酒...

恒例當山酒...

恒例當山酒...

恒例當山酒...

...

...

...

...

...

...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

一 此回是初開...

...

一 此回是初開...

代横の清見は後より布衣に成下河輪迄くぬ
川川源源より本長者小寺の修人高名言と也人善性者也
付衣迄改印知別年一お底に善安流竹六の衣衣役高見
修人小寺信宗と大出人入く也人善性者也
入役信下此而見仇に下以而也十名代信衣
一此同物程より大文二此中其本西の殿くお同有凡二以上
の程より修人信也

七月一日

一芥山中虎夷信高節の心四門師一愛河の系を
別々信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を

二日

芥山中虎夷信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を

芥山中虎夷信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を

信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を

一全堂御座理の信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を
信高節の心四門師一愛河の系を

芥大信高節

1. *Handwritten text in a cursive script, possibly a historical record or letter. The text is dense and fills most of the page.*
 2. *Continuation of the handwritten text, appearing as a separate line or section.*
 3. *Further lines of handwritten text, showing varying degrees of legibility due to the cursive style.*
 4. *More lines of handwritten text, continuing the narrative or record.*
 5. *Final lines of handwritten text on the main page.*

1. *Small handwritten notes or marginalia on the left side of the page.*
 2. *Continuation of the marginal notes, possibly providing additional context or dates.*
 3. *Final line of marginal text at the bottom left.*

寺社雜事記 并五御墨符 廿紙

右後大慈三昧院殿尋一尊御自記之

末代不可存疎畧者也

享和并二曆志九月日

并大僧正隆範識

勢